特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 221 号] 令和 2 年 3 月 23 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

綾瀬川カヌーでお散歩⑨

2 馬力エンジンを搭載し、試験運行し乗り心地を確かめました。ヤマハの 2 馬力エンジンを付けてのスピード、操縦性、安定感、

着場へ戻りました。温かい春の陽ざしを浴び、行きは引き潮に乗り、帰りは南風に背中を押されながらカヌーを漕ぎました。とても快適な定例活動になりました。今日のゴミ拾いは 10 袋の成果でした。大変お疲れ様でした。

3 月 21 日(土)、定例活動は、「綾瀬川カヌーでお散歩」マップ⑨宮代橋コースで実施し、木村、古田、村田、矢部、大原、井坂、中島の 7 名が参加しました。双胴船に

物資運搬力など良好でした。宮代橋船着場で上陸する時の浮桟橋の役目も十分果たせました。天板に車椅子を載せることも出来るね・・という素晴らしいアイデアも出てきました。いつかそうできたらいいですね。少しの時間、珈琲館 OB 八潮店で休憩し美味しいコーヒーをいただいてから左岸船

綾瀬川カヌーでお散歩⑧

3月22日(日)、定例活動は、「綾瀬川カヌーでお散歩」マップ⑧手代橋コースで実施し木村、古田、佐藤ご夫妻、梅田親子、中村、矢部、松坂、尾谷、中島の11名が綾瀬川の浮遊ゴミ回収で5袋の成果でした。

手代橋船着場で双胴船を接岸させ浮桟橋にして上陸しました。今日初めて参加の松坂さんも上手に上陸できました。魚屋河岸船着場の桜の古木が満開に咲き誇っていました。

今日の双胴船の操縦は中村氏にお願いしました。来るべき非常時には彼のキャリヤや力量、総合判断力など今後の活動に大きな力になっていただけるものとの期待からです。毎月/月末の水曜日に自主防災訓練を実施していますが、これらの練習にも大いに反映させてまいりたいと考えています。

尾谷氏は、春日部市カヌー協会のその後の進捗状況や銚豊フェスティバル実施の可否について連絡を兼ねてゴミ拾いに参加しました。

郷土の歴史遺産

「椎ノ木稲荷」を守る

およそ400年前、大川図書家とその分家、中大川(大川弥惣右衛門)家は草加開宿に貢献したその一人であると伝わっている。この椎ノ木稲荷は中大川家の田畑の守り神であり、境内に樹齢300年を超える椎の古木が聳えていたところから、地域の人々に「椎ノ木稲荷」と呼ばれ親しまれてきた歴史があります。

3月22日、中大川家のご子孫である三郷市在住のHさんとお会いする機会がありました。率先して境内の美化活動をしてきた大原氏の中継ぎで実現したものです。

日頃から境内の美化活動をしていただいている大原氏と草加パドラーズの皆さんには有り難く思っています。参道の敷石や整備については、自宅の敷石をぜひ提供したい、それを使ってもらいたい。そして、記念樹として庭の椿(つばき)の木を提供したい・・・と云ってくれました。4月11日(土)の午後、三郷市まで車で受け取りに行く約束をして別れました。

故郷の歴史や文化を大切にし、守り伝える活動は草加パドラーズの目標の一つです。河川の美化活動やスポーツ文化の普及と共に、皆さんと一緒にさらに力を入れてまいります。